

◆ 博物館だより

◇かんさい・大学ミュージアムネットワークの取り組みとして、連携展示会「関西大学博物館の名品」を9月2日から20日まで開催し、会期中には144名の方にご来場いただきました。また、連携講座「蓄音機で聴くSPレコードコンサート 音楽とのつながり」を10月4日に関西大学東京センターにて開催しました。参加された60名の皆さまは、ポピュラー音楽からクラシック音楽まで幅広い音楽とともに、ゼンマイ駆動の蓄音機が奏でる音色の広がりを楽しんでいました。その他にも「大学建築をさぐるバスツアー」(10月19日 参加者26名)と上方文化体験講座「小袖と邦楽」(10月25日 参加者71名)を実施しました。

◇2019年度ミュージアム講座「『かたな』についてのいろいろ」を開講し、54名の方から聴講の申込みをいただきました。10月12日の第1回目は台風の影響で残念ながら中止となりましたが、第2回、第3回の講演会ではたくさんの方にご参加いただきました。

第1回 10月12日 台風のため中止。

第2回 10月19日「現代刀匠として日本刀を鍛える」 刀匠 高見國一

第3回 10月26日「藤ノ木古墳出土の原「^{たままきのたち}玉纏太刀」をめぐる諸問題

名古屋市教育委員会文化財保護室 深谷淳



◇今年度も「博物館実習展」を11月10日から15日まで開催しました。この展示会は、企画から展示まで学生自らが主体的に取り組みます。今年度は32名の実習生が「稲垣足穂展～イナガキタルホ×∞～」、「たけがたり～今日/京に生きる竹工芸～」、「吹田くわいの今と昔—近世から近代、そして現代へ—」の3班に分かれ、博物館学課程の集大成として展示を構成しました。また、2019年度特別展示として「徳山喜昭コレクション 看板一商いの武器なりー」を同時開催し、会期中には508名の方にご覧いただきました。

◇12月7日に「DOCOMOMO Japan 関西大学千里山キャンパスにおける村野藤吾建物群 選定記念シンポジウム」を開催しました。当日はキャンパス見学ツアーも開催し、見学ツアー参加者121名、シンポジウム参加者187名と、たくさんの方にお越しいただきました。

◇2019年度冬季テーマ展として、2020年1月14日から30日まで「関西大学と村野藤吾 建築写真・設計図」を、冬季ミニテーマ展として「装飾塼—レンガに見る中国の祈りと美—」「本山彦一と九州—故郷での交流と蒐集資料—」「絵馬—祈りの表象—」を同時開催し、来館者は224名でした。

◇このたび本学化学生命工学部教授、副学長の吉田宗弘先生から、京都南座の「まねき」を書いておられた書家竹田耕清氏から譲り受けられた書「寿」を寄贈いただきました。また、西谷康夫氏からは、2016年に寄贈いただいた古文書と一体となる古文書2,113点、和漢書257点の合計2,370点を追加寄贈いただきました。今後、博物館で充分活用していきたいと考えています。

．．． 編集後記 ．．．

表紙は、文化9年(1813)頃から昭和時代初頭まで販売された薬「ウルユス」の江戸時代末期から明治時代に作られた木製看板です。効能は「腸を空にする」もしくは「体内の毒を空にする」で、名称は「空」字を3つに分解し、「ス」をつけたものといわれています。

2020年度春季企画展「受贈記念 横山滋ガラスコレクション びいどろギヤマンガラス展—ガラス器を愛で愉しむ—」を4月1日から5月17日まで開催します。本展示会では、横山滋ガラスコレクションの受贈を記念し、近世の和ガラス、和製ギヤマンを筆頭に輸入ガラスや近代のガラスの名品の数々約200点を厳選してお披露目いたします。

